

正しく恐れ

加賀のけん
 天正のけんのん鑑別者ん同撰
 人ゆきあはるく思ひあはるく
 白るのたまあはるくあまよあはるく志
 やけんの鑑光寺をさまふあはるく
 まははるくささきたあはるくま
 あはるくささきたあはるくま
 加賀のけん
 天正のけんのん鑑別者ん同撰
 人ゆきあはるく思ひあはるく
 白るのたまあはるくあまよあはるく志
 やけんの鑑光寺をさまふあはるく
 まははるくささきたあはるくま
 あはるくささきたあはるくま



かわら版 鯨絵 (東京大学地震研究所図書室所蔵)

周到な準備を

平成30年

11/20^火

13:30~16:30

場所 みの観光ホテル(飛天の間)
 美濃市松森町333-1
 主催 国立大学法人 岐阜大学
 清流の国 防災・減災センター
 後援 岐阜県、美濃市

岐阜大学 防災シンポジウム

— 中濃地域の災害に備える —

Gifu University
Disaster Prevention
Symposium

岐阜県
国産品



正しく恐れ

地震

日本は世界の陸地の1%にも満たない国土ですが、世界で発生する地震の約10%が日本とその周辺で発生しています。

私たちの大切な生命や財産を地震から守るために何ができるのかを考えていくことは重要です。

調査・研究により、実際に地震が起きたときにみなさんの住んでいるところがどのように揺れるのかどのような被害が生じるおそれがあるのかなどについて十分なデータや知識を得ることができれば、地震について理解が一層深まり、今、何をどこまでしなければいけないのかを正しく理解し、それを実行することができます。

岐阜県には濃尾断層帯をはじめ多くの活断層があります。

また、大雨による洪水・土砂災害など気候変動に伴って災害のリスクは多様化しています。

近年の自然災害から多くの教訓を学び、学術的知見に基づき、防災・減災を皆さまと共に考えます。

プログラム

- 13:00 開 場
- 13:30 開会式
森脇久隆(岐阜大学学長)
武藤鉄弘(美濃市長)
- 13:40 基調講演
I 「中濃地域の地震に備える」
能島暢呂(岐阜大学工学部教授)
II 「気候変動が長良川流域の自然災害リスクに及ぼす影響と適応策」
原田守啓(岐阜大学流域圏科学研究センター准教授)
- 15:00 休憩・交流タイム
- 15:15 ワークショップ
「平成30年7月豪雨から学び、将来の災害に備える」
高木朗義(岐阜大学工学部シニア教授)
平岡 守(げんさい未来塾一期生・川辺町在住)
- 16:30 閉会式
杉戸真太(清流の国ぎふ 防災・減災センター長)



かわら版 鯉絵 (東京大学地震研究所図書室所蔵)

風水害

「これまでに経験したことのないような大雨となっています」といった報道をよく耳にしますが、原因の一つとして温暖化が揚げられます。

気候変動による水害や土砂災害といった自然災害のリスク変動と、人口減少や高齢化といった人口構成の変化が、災害時に地域に与える影響として大変懸念されています。

台風や局地的豪雨による洪水等のリスクを正しく評価し、気候変動と社会構造の変化にどのように適応するための方策などについて、事前に検討されていれば被害の軽減に役立てることができます。

家族・守りたい人々のために

行動の積み重ねが
減災に繋がる

周到的な準備を

平成30年

11/20^火

13:30~16:30

場所 みの観光ホテル(飛天の間)
美濃市松森町333-1
主催 国立大学法人 岐阜大学
清流の国 防災・減災センター
後援 岐阜県、美濃市

上有知湊(川湊灯台)

岐阜大学 防災シンポジウム

— 中濃地域の災害に備える —

申込方法

参加希望の方は、住所、氏名を下記①か②によりお申込ください。

①メール: gfbosai@gifu-u.ac.jp

②電話: 058-293-3890 (清流の国ぎふ防災・減災センター)

定員250名になり次第、締め切らせていただきます。

締め切り **11月2日(金)**

入場料無料



(注) 車でお越しの方は、中濃総合庁舎駐車場をご利用ください。

